



2025年7月28日

報道関係者 各位

取材のお願い

三間町 毛利家（宇和島市有形文化財）にて開催  
「長生きオルガン たなばたコンサート」を本学学生がサポート  
～地域と大学生のコラボイベント～

この度、三間町の旧庄屋毛利家（宇和島市有形文化財）にて開催される「長生きオルガン たなばたコンサート」に、松山東雲女子大学心理子ども学科の学生が協力することになりました。

本イベントでは本学学生が司会を務め、地元の成妙小学校の児童や「旧庄屋 毛利家を守る会」や地元の参加者とともに、歌やクイズラリーを通して交流をします。

宇和島市から運営を委託されている「旧庄屋 毛利家を守る会」では、毛利家を舞台に各種イベントを開催することを通じて交流人口を増やし、魅力を発信、地域を活性化させたいというねらいがあります。本学としても、今回のイベントを通じて、日頃の幼児教育や地域課題解決の学びを实践させていただくと同時に、宇和島の文化遺産について学び、地域に貢献できる人材を育成したいと考えております。

（長生きオルガンとは、明治時代に作られた120年を超える歴史を持つオルガンのことです）

日 時：2025年8月7日（木）10：00～11：30

場 所：旧庄屋毛利家（愛媛県宇和島市三間町是能419）

参加者：学生 15名、担当教員2名

宇和島市立 成妙小学校 生徒 19名

## ◆ プログラム

- 10：00 ・七夕の飾りつけ
- 10：30 ・オルガンコンサート（10分）
  - ① 成妙小学校 校歌
  - ② たなばたさま
  - ③ 勇気100パーセント 他
- ・クイズラリー（40分）
  - 毛利家の建物、農具に関するクイズ
- ・感想発表（10分）
- 11：30 ・解散



## ◆ 毛利家について

約250年前に建てられた旧庄屋・毛利家屋敷は、藁葺き屋根の伝統的な建築様式を有し、多くの古文書が残されていることから、郷土史研究において重要な役割を担っています。

本イベントを担当する西村浩子教授（心理子ども学科）は、外国人留学生を対象に、毛利家で古文書を学ぶプログラムの開発に取り組んでおり、毛利家を拠点とした国際的な交流活動にも積極的に関わっています。

また、同行する増本達彦教授（心理子ども学科・美術）は、昨年度、毛利家にて初めて個展を開催しました。今年度も開催が予定されており、地域遺産と現代アートの融合を通じて、地域の新たな魅力創出や文化的価値の発信に貢献しています。



※ 取材の際は事前にご連絡いただけますと幸いです。

### 【お問い合わせ・ご連絡先】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報

松山市桑原3丁目2-1 電話：089-931-6211(代)

Mail：kouhou@shinonome.ac.jp

note



[https://note.com/ready\\_fowl3292](https://note.com/ready_fowl3292)